

自民党政治を 終わらせ



自民党への怒りが、日本列島に渦巻いています。

●：賃金は上がらず、

海外は1.5倍も伸びているのに、日本は109%と横ばい。一方で大企業の内部留保は51兆円も

●：深刻な政治不信を招いている裏金事件。これまでの汚職事件と違うことは、オール自

●：消費税は10%になっているのに、社会保障は削られ、国保料・介護保険料は2倍に。

民党とオール財界との癒着が、長年関係していたことです。

●：今こそ「岸田政権を終わらせ」、「軍事費を減らし、暮らし・福祉・教育の充実」、「野党は共闘」の声を上げていきましょう。

●：「失われた30年」と言われていますが、

経済が停滞し、労働者・市民の暮らしが悪化、社会保障は改悪の一途。

●：「失われた30年」と言われていますが、経済が停滞し、労働者・市民の暮らしが悪化、社会保障は改悪の一途。

●：今こそ「岸田政権を終わらせ」、「軍事費を減らし、暮らし・福祉・教育の充実」、「野党は共闘」の声を上げていきましょう。

希望の時代を



予算に反対討論

来年度予算に、反対討論をおこないました。(要旨)

能登半島地震を教訓に震災への備えと、

物価やエネルギーの高騰が高止まりしているもと、市民生活と生業を守る課題が

重要になっている中、3点を指摘しました。

震災対策が不十分

市の地震想定は震度6弱としていますが、能登半島地震は震度7の激震災害。最悪の想定が必要で、「備えも認識」も甘いと指摘。

安心の街づくりを

避難者数を市民の12%・25,500人とし、食料は3食×3日分のみで「3日後に国や、流通備蓄による企業、空輸の支援がある」と、公的備蓄の強化を放棄。職員も他市より

少なく「他市からの応援がある」と強化しません。段ボールベッドの備蓄、備蓄倉庫の整備、防災井戸の増設もゼロ。市の地域防災計画は「耐震化率の向上で人口は増加したものの被害は減少」として避難者数を1万人にするなど、大きな問題があります。

優先順位が逆立ち

算は、わずか870万円と5年間増額していません。市民の命を軽視していると強く抗議しました。施策の優先順位が逆立ちしています。おおたかの森駅周辺の再整備に5億2千万円、白みりんミュージアム建設に総額1億8千万円。観光をすすめる法人は、債務5千300万円にもなります。このような予算があれば、市立幼稚園の存続も、防災予算、学校給食の充実、補聴器助成など、直ぐにでも実現できると指摘しました。

使途不明金の究明

日本共産党などが提案した「国会議員による使途不明金の徹底究明と企業・団体献金の全面禁止の意見書」が全会一致で可決しました。

「裏金」の文言を他党の修正に応じて、「使途不明金」に変更するなどして共同提案し実現しました。

市議会としての良識を示しました。

意見書 全会一致で可決

実現しました!!

12月議会で「検討する」との答弁がありましたが、4月から対象を拡大します。

夫婦+子ども2人の家族の所得が、270万円から300万円になります。

(生活保護基準の1.1倍から1.2倍に)

就学援助が拡充

入学準備金、学用品、修学旅行、給食費etcが支給されます。

年度途中からでも、基準は目安ですので、ぜひ申請して下さい。



2024.4 第239号

ニュース

わかば

日本共産党流山東部後援会

<部内資料>

連絡先 高橋 TEL 090-6565-1749



日本共産党 高橋 あきら

市立幼稚園 残しての陳情可決

3月議会で「市立幼稚園の廃止見直し」を求める陳情が、賛成18対反対7で採択されました。

市は、「民間でできることは民間で」として「廃園ありき」で強行しようとしています。しかし、市立幼稚園

は、子どもたちの人格形成の土台を築く幼児教育を実践しています。パブリックコメントの234人のうち廃止意見は1割で、署名も2533筆も寄せられています。

6月議会に廃止条例を、提出させない世論を盛り上げていきましよう。

賛成18…日本共産党、流山みらい、公明党、自民党
反対7…流政会：青野直、笠原久恵、石原修治、渡辺仁二、近藤みほ、川本大岳
棄権…矢口輝美、鈴木ゆうすけ

2名が会派離脱
この存続を巡って、1年生議員2名が会派を離脱する事態になりました。



身近な要望実現

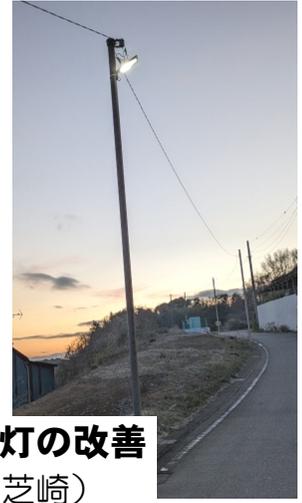
要望・改善点をお寄せください。



道路の補修 (富士見橋〜東消防署)



道路の補修 (芝崎)



防犯灯の改善 (芝崎)



案内看板 3ヶ所設置

生涯学習センター



防球フェンスを増設 卓球クラブの方からの要望

日本の農業が解る

安全でおいしい食料を日本の大地から…食料自給率が38%と危機的状況になっています。日本の農業・食料を

考える上で最適の本が出版されました。流山市在住のジャーナリスト・小倉正行氏の著書。ご希望の方は、ご連絡を…。定価1,320円(税込)



“あきら”のホツと

挑みました。過去3~5年間の予算の経過をつかみ、市民のために使われているか？、今必要な施策は何か？と。



市の50課余と3日間かけて審議し、4日目に市長に迫りました。

数字と格闘 (^^)



3月議会では予算議会で来年度予算830億円の使い方を審議しました。予算委員になり、700頁の予算書に

映画紹介

「人間の境界」

2023年 ポーランド、チェコ、ベルギー 152分 モノクロ 5月3日よりシネマシヤンテなどで公開
監督：アグニエシカ・ホランド
出演：実際の難民、難民支援者の俳優

ウクライナ戦争開始前後、ロシアの介入で混乱が加速したシリアから、ベラルーシに溢れたシリア難民に、ポーランドを通過すれば安全にEUに入れると、EUの混乱を狙い、デマをシリア難民に流したベラルーシ。

しかし、実際には国境の森で武装した国境警備員に捕まり、乱暴にベラルーシに追い返されます。だがベラルーシ側もポーランドからの違法越境者として強制送還をします。映画は子どもを連れた難民家族の過酷な姿を描きます。人間を兵器として政治利用する双方の国家。それに翻弄されて地獄を味わう難民達。

監督は現代ポーランド映画を代表するアグニエシカ・ホランド。ポーランドでは政府が上映をしないように呼びかけましたが、映画館はともなわなかったそうです。

(映画)プロデューサー 北村真平